

記入例

様式第8号（第11条関係）

補助事業実績報告書

第 号
年 月 日

書類の不備等で日付通りに受理できない場合がありますので、空欄にしておいてください。

兵庫県阪神南県民センター長 様

住 所

団 体 名

代表者名

電 話 （ ） ー 番

電子メール

交付決定通知書の日付、文書番号をご記入ください。（分からない場合は担当まで御連絡ください）

年 月 日付け神南（県）第 号で交付決定のあった令和8

年度阪神南ふるさとづくり応援事業を下記のとおり実施したので、補助金交付要綱第

11条の規定に基づき、その実績を報告します。

記

1 事業の内容及び経費区分（収支決算書）

（ 年 月 日）

2 事業の着手年月日

（ 年 月 日）

事業の完了年月日

年 月 日

3 添付書類

日付は上段に括弧書きで申請内容を書き、実績を下段に記入してください。申請内容と実績で日付が異なる場合は、担当まで御連絡ください

（注）申請内容を上段に（ ）書で記入し、実績をその下段に記入する。

事業報告書

団体名	□□協議会
事業名	◇◇大学と連携した□□地域活性化事業
活動地域	1 (○○)市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：)
協働団体	◇◇大学社会学部△△ゼミ
事業の 目的・趣旨	□□協議会はメンバーの高齢化が進んでおり、行事等もマンネリ化しており、参加者も年々減少している。 そうした現状を打開するため、◇◇大学社会学部△△ゼミと協働して、□□商店街を主な舞台として若者の目線でイベントを企画し、商店街の活性化・□□協議会の団体としての活性化を図るとともに、若い世代にもっと□□協議会を知ってもらうことで、団体に若いメンバーを取り込むことを目的とした。
事業内容	1. □□商店街でのイベント ・子ども縁日の開催 (8/18、8/24) 事前に回覧板で子どもが利用できるチケットを配布 (当日は現金払いにも対応)。また、開催期間中と開催前の2週間の間は商店街でお使いする子どもにもチケットを配布した。 当日は地元商店や子ども会、婦人会、老人会その他□□小学校PTA等がスーパーボールすくいや大小の水鉄砲が当たるくじ引き、焼きそばやわたがし店などを出店した。 参加者数：18日80人、24日100人 (主に子ども) ・□□商店街インスタ映え大賞 (11/12～11/26) △△ゼミの協力でSNS (ツイッター・インスタグラム) でアカウントを作成。チラシとともにSNS上でイベントの周知をはかった。 期間中、商店街では、 1) 各店舗で店舗のデコレーション、 2) インスタ映えする商品の提供、 3) 商店街全体でイルミネーションを実施、などを展開。 商店街での買い物や飲食の様子を「#□□商店街インスタ映え大賞」のハッシュタグとともにSNS上に投稿した利用者には割り引きを行った。また大賞を選定し、優秀作品の投稿者には賞品も贈呈した。 応募数：40件 運営アカウント：□□商店街インスタ映え大賞 (@shikakushikaku_insta) 大賞：〈□□食堂で孫と食事〉 アカウント：□□太郎@地元好き (@shikaku-taro) 優秀賞：〈路地裏の猫〉 アカウント：□□の刺客 (@shikaku3) 2. □□小学校でのイベント ・ウォーターサバイバルゲーム～□□戦線異状なし！～ (9/16) □□小学校の校庭に段ボールや紙でいくつかの遮蔽物を作成。参加者

	は頭と背中に紙風船を装着。水鉄砲でチーム対抗（3世代で構成）のサバイバルゲームを行った。 遮蔽物の一部は水鉄砲で何度も撃つと壊れるようにし、水風船を手榴弾に見立てるなど、工夫した。 参加者：大人 10 人 子ども 35 人、9 チーム						
	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過 (A)	△△	7	12	△△市民会館	運営会議	15	
		8	11 ～	□□商店街	お使いの子どもに チケット配布		
			18	〃	子ども縁日	25	約 80
			24	〃	〃	25	約 100
		9	16	□□小学校	ウォーターサバイバルゲーム	20	45
		11	12 ～	□□商店街	インスタ映え大賞募集		40
		12	26				
		12	28	□□商店街	大賞作品決定		
目標の 達成状況 (B)	※計画書に記載の目標に対する達成状況を記載ください。						
事業効果 (C)	大学生と協働することで、□□協議会だけでは生まれない発想で楽しいイベントを実施することができた。また周知についても、SNSを活用することで、主なターゲットである若者に向けて大きな効果を得ることが出来た。 子ども縁日に関連して多くの子どもや親が商店街を訪れてくれたので、良いPRになった。インスタ映え大賞は予想よりも応募作品が少なかったが、応募の為に何度も商店街を訪れる人もいたので、一定の効果はあった。						
補助金交付 終了後の事業展開、 今後の展望 (D)	大学生だけでなく、地元の若者にも企画段階から参加してもらい、より世代間交流が進むような、多くの人を巻き込んだ取り組みにしたい。 来年度は、老人会が主体となって水鉄砲以外の昔ながらの遊び（コマ・リリアン）を学ぶ企画や、子どもが色を塗った孫の手を地域の高齢者にプレゼントする企画などを考えている。 資金面では、起業協賛や参加費徴収など、補助金に頼らない事業運営ができるように努める。						

(A) ～ (C) については、事業計画書を踏まえてご記入ください。

(添付書類)

事業実施状況を示す写真、チラシ等

事業の様子ที่わかる写真や、チラシなどを添付してください。

記入例

(別紙5)

収 支 決 算 書

備考や内訳も分かりやすく
記入してください。

1 実施期間 令和8年度 (○○年××月 ~ ◎◎年△△月)

2 収入の部

(単位: 円)

科 目		金 額	備 考
兵庫県補助金 (阪神南ふるさとづくり応援事業)		(100,000) 100,000	応募区分記載
自己資金等	自主財源 (会費等)	(43,500) 49,000	会費収入より捻出
	その他補助金・助成金 (当該補助金以外)	(0)	助成金名称: 提供団体名:
	参加費収入	(45,000) 30,000	縁日での売り上げ
	その他収入 (協賛金、寄付収入等)	(12,000) 7,000	縁日参加商店の協賛金 1,000×7 店舗
合 計		(200,500) 186,000	支出額と一致させて ください。

3 支出の部

(単位: 円)

科 目		金 額	積算内訳
補助対象経費	謝金・旅費	(0)	
	印刷製本費	(80,000) 75,000	チラシ制作費 @6 円×5,000 部 30,000 (1回目) @5 円×9,000 部 45,000 (2回目)
	通信費	(10,000) 10,000	郵送料 10,000
	保険料	(15,500) 10,000	イベント保険料 10,000
	使用料 (会場使用料・リース料等)	(15,000) 10,000	テントレンタル代 2,500×4 張
	委託料	()	
	その他の経費	()	
	小 計	()	
補助対象外経費	食材料費	(65,000) 63,000	子ども縁日での食材料費 60,000 水サバゲ用ドリンク 3,000
	賞品代	(15,000) 18,000	くじ引き景品 8,000 インスタ映え大賞景品 10,000
		()	
合 計		(200,500) 186,000	収入額と一致させて ください。

上段に括弧書きで申請時の予算
額を書き、下段に決算額を記入
してください。

(注) 申請内容を上段に () 書き、実績を下段に記入してください。

記入例

(別紙6)

科目ごとに分け、日付の早いものから記入してください。

領収書ごとに通し番号を記入してください。

通し番号は提出する領収書にも一致する番号を記入してください

領収書等総括表

(単位：円)

科 目	領収日付	領収書内容	金額	通し番号
需用費	2026. 8/20	チラシ印刷代	30,000	①
	9/28	チラシ印刷代	45,000	②
役務費	2026. 8/20	会場設営費	10,000	③
	9/16	イベント保険料	10,000	④
使用料	2026. 8/16	テントレンタル代	10,000	⑤
食材料費	2026. 8/15	食材 (焼きそば・わたがし)	15,000	⑥
	8/15	食材 (たこ焼き)	10,000	⑦
	8/20	飲料 (ドリンク)	5,000	⑧
	8/20	飲料 (ドリンク)	5,000	⑨
	8/24	食材 (焼きそば・わたがし)	15,000	⑩
	8/24	食材 (たこ焼き)	10,000	⑪
	9/15	飲料 (ドリンク)	3,000	⑫
賞品代	2026. 8/10	子ども縁日景品代 (水鉄砲)	8,000	⑬
	11/2	インスタ大賞賞品 (カメラ)	10,000	⑭
合 計			186,000	

(添付書類)

領収書 (写) など支払実績の分かる書類

(収支決算書 (別紙5) 「3 支出の部」の「科目順」、科目ごとの領収日付順に並べて、提出してください。)

(注) 領収書等総括表 (別紙6) は、下記①～⑤の手順で記入してください。

- ① 収支決算書「3 支出の部」の「科目順」に分類
- ② 科目ごとの領収日付順に記入
- ③ 領収書内容 (使途内容) を記入
- ④ 科目ごとに集計
- ⑤ 通し番号 (1、2...) を記入し、領収書 (写) 等にも同じ番号を記入してください。

記入例

様式第10号（第14条関係）

補助金請求書

金 円也

金額欄は、担当者が書類や領収書等の確認をした後に記入してください。

ただし、令和8年度阪神南ふるさとづくり応援事業補助金

補助金交付決定額 金 円（概算払のとき）

補助金確定額 金 円（精算払のとき）

既受領額 金 円

今回請求額 金 円

各通知書の日付と文書番号を記入してください。
（分からない場合は担当まで御連絡ください）

<根拠> 補助金交付決定通知 神南（県）第1234号 （概算・精算払のとき）

〇〇××年〇〇月××日

補助金交付決定変更通知 神南（県）第 号 （概算・精算払のとき）

 年 月 日

補助金確定通知 神南（県）第 号 （精算払のとき）

 年 月 日

上記のとおり、補助金を精算（概算）払によって交付されたく、令和8年度補助金交付要綱第14条第1項（第2項）の規定に基づき、請求します。

書類の不備等で日付通りに受理できない場合がありますので、空欄にしておいてください。

年 月 日

兵庫県阪神南県民センター長 様

印鑑は必要ありません。

請求者 住 所

団 体 名

代表者名

発行責任者 氏 名

電 話 （ ） ー 番

電子メール

担 当 者 氏 名

電 話 （ ） ー 番

電子メール

（添付書類）